

令和5年度事業計画及び事業収支予算

全国イノベーション推進機関ネットワーク

I. 令和5年度事業計画

1. 令和5年度事業の基本方針

(1) 令和5年度事業

令和5年度は、第12回地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード）、充実した情報提供・情報発信、地域の諸課題を踏まえた国等との政策対話、人材育成等を行い、地域のイノベーションへの取り組みを促進する。

(2) 今後に向けて

イノベーションネットは、地域の産業支援機関を中心に、会員相互の情報共有、交流促進及び、共通課題の解決等に向けた活動を通じて、広域的な産学連携等の促進を図り、地域活性化を推進するために、平成21年4月に設立され、今年で14年目を迎えている。イノベーションネットアワードはこれまで12回実施し、全国の産業支援機関等でベストプラクティスの共有がなされてきた。また、イノベーションネットの情報提供事業、各種セミナー、会員交流等の各種事業も併せて、地域でのイノベーションへの取り組みを根付かせる成果をあげてきた。

14年間にわたる事業の結果、イノベーションネットの当初の目的は概ね達成されてきていることから本年度で事業を終了し、必要な手続を経たうえで、令和6年6月開催予定の総会にて組織を解散する。

なお、メールマガジンの発行やアワード受賞事例の普及啓発等、一部情報提供機能については、令和6年3月のイノベーションネット事業終了後も事務局を務めている一般財団法人日本立地センターにおいて継続して実施することを要請する。

2. イノベーションネットアワード等、イノベーション活動活性化事業

(1) イノベーションネットアワード事業の実施

第12回地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード2023）については、前年度に実施した選考委員会及び令和5年4月18日開催の審査委員会の結果を踏まえ、令和5年6月15日に表彰式を開催する。

(2) イノベーションネットアワード受賞事例の活用

受賞事例を広く普及させ、地域産業支援等に関わる方々に参考としてもらえるよう、イノベーションネットアワード2023の受賞事例を加えてホームページに掲載する。

また、地域イノベーション・地域産業の活性化支援に携わっている方々向けに、その事業実施に際し課題克服のヒントとなるよう、受賞事例の成功要因を取りまとめる等して、受賞事例の普及啓発に向けた広報活動の更なる深化を図る。

3. ネットワークの活用・強化事業

(1) 情報提供・情報発信の強化

ホームページでの情報発信を充実させるほか、メールマガジン（イノベネット TIMES）を定期的に配信する。また、日本立地センターが発行する機関誌「産業立地」での地域イノベーションに係る内容を充実させ、正会員・学術機関会員等に送付する。

イノベネット TIMES においては、地域イノベーションや新型コロナに係る施策等情報をタイムリーに提供するとともに、会員の情報発信の要望を随時受け、情報発信の強化を図る。

(2) 地域の諸課題・要望等を踏まえた国等との政策対話の実施

地域の課題やニーズを政策に反映させていくため、三省（文部科学省、農林水産省、経済産業省）等、国・関係機関等から施策紹介等を受けながら、地域の諸課題や要望を国等に伝え、意見・情報交換する場をオンラインで設けていく。

(3) 人材養成研修の実施

産業支援機関では、プロパー人材の強化が共通の課題として位置づけられていることから、幹事機関とも連携して、オンライン形式での人材養成セミナーを数回実施する。

Ⅱ. 令和5年度事業収支予算

令和5年度事業収支予算（令和5年4月1日～令和6年3月31日）は、以下のとおり。

（単位：円）

科 目	予算額	内 訳
収入の部 会費収入	3,695,000	正会員 @50,000×2口×34機関 = 3,400,000 正会員 @50,000×1口× 2機関 = 100,000 学術機関会員 @15,000 ×13機関 = 195,000
収入合計	3,695,000	
支出の部 事業経費	3,325,500	イノベーションネットアワード等イノベーション活動活性化事業 1,860,000 ネットワークの活用・強化事業 1,465,500
事務局経費	369,500	
支出合計	3,695,000	
収支差額	0	